

保全活動日記 vol.17 2018年1月7日(日)

● 保全活動実施報告

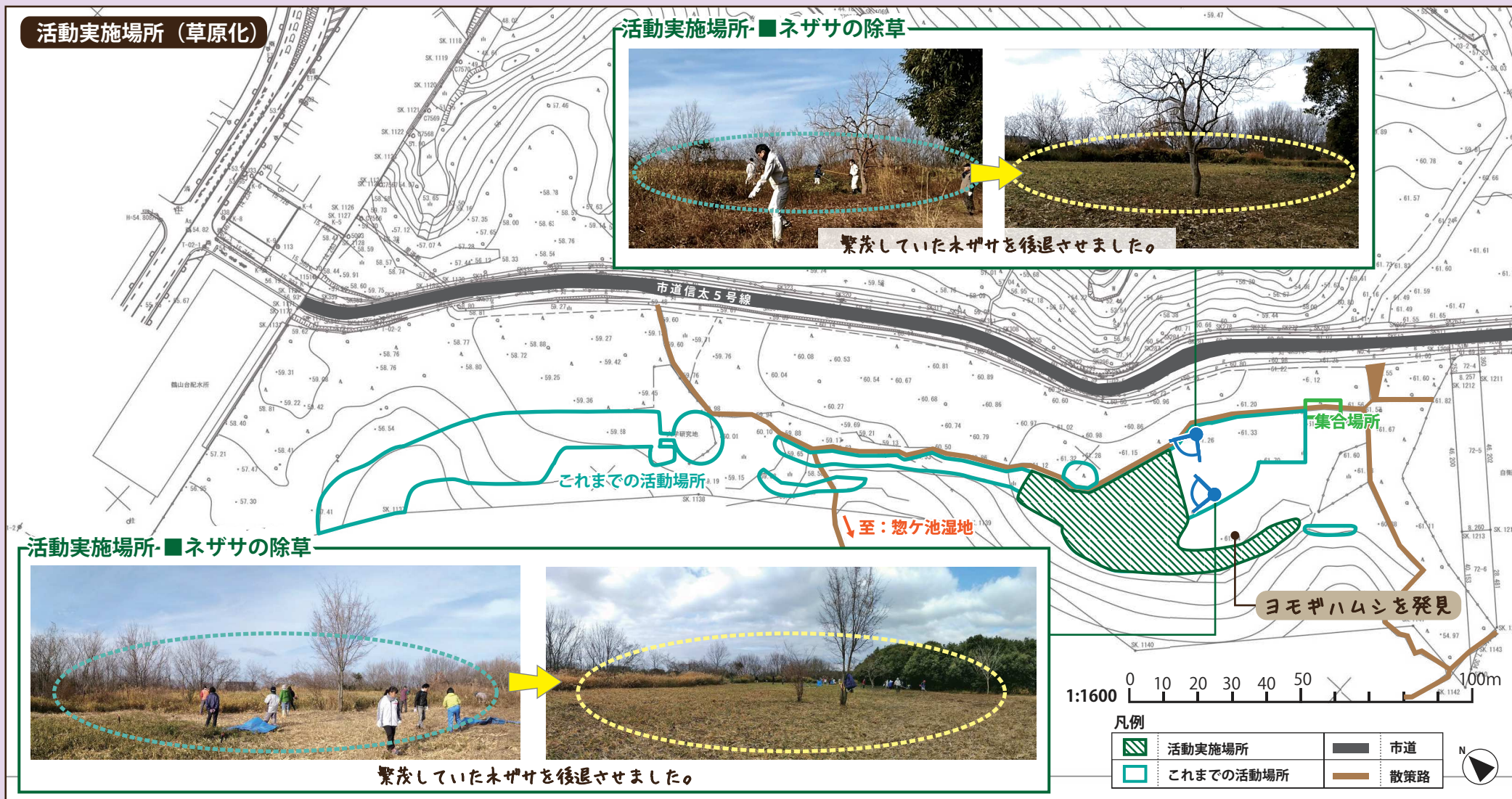
● 参加人数：38名

● 活動内容：南西側草原エリアで、平成28年度以前に刈り取りを行った場所のネザサの草刈りを行いました。平成30年最初の活動となる今回は、参加者が多くにぎやかな活動となりました。

● 実施日：2018年1月7日(日)

● 時間：9時00分～12時00分

● 天気：晴れ



④ 今回の大発見！

黒色で、藍色や銅色の光沢をもちます。草原に多く、ヨモギやヤマシロギクなどを食べます。冬は成虫と卵で越冬します。



ヨモギハムシ

④ 冬を越すために……

花や虫を見る機会が少なくなる冬ですが、よく観察するとおもしろい発見がありますよ。

例えば、この写真はメマツヨイグサの葉です。植物の葉が放射状に地中から直接出ていること、あるいはそれに近い状態を「ロゼット」と言います。

このように茎が短いと他の植物の影に入りやすく、葉にあまり光が当たりません。このため、ロゼットとして生きていけるのは、例えば冬のような他の植物が生育できない厳しい環境になります。そのなかで、なるべく葉に光が当たるように自分の葉同士が重なるのを防ぐため、ロゼットは全体に丸い形になります。葉を地面にはり付くようにすれば、気温が低くても日射で暖まった地面の熱で葉温が上昇し、光合成が盛んになる効果があるそうです。競争相手のいない冬

の間に育つことは、ロゼット植物の生き抜くためのひとつの方法です。たまに足元を見て、冬ならではの観察を楽しんでみてください。

メマツヨイグサのロゼット



④ 活動後のふりかえり

活動の感想や今後の意見が挙がりました。



最初は、いっぱい草が生えていたのに、みんなで協力して、たくさん刈り取ることができて良かったです！

参加した高校生の感想



楽しかったので、また参加したいです。



今日の作業の感想

今日は参加者が多かったので、草刈がとても進んでよかった。

刈払機を使うときは、危険なので周囲に人がいないか十分気をつけましょう。



今後の作業について

木ヅサを刈るときは、根元から切るようにしましょう。根元が残っている状態は、歩く時につまずいて危険です。